

令和7年度 幼保小連携推進事業「授業と保育の相互参観（協議会）」

第1回協議会だより 《南方部》

令和7年5月29日（木）13:40～15:40

【授業と保育の相互参観】 郡山市立橘小学校

～橘小学校授業参観について～

1学年3クラスにおいて、国語「かきとかぎ」の授業を提供していただきました。どのクラスも先生の話をしっかり聞き、先生の発問に元気よく返答や発言をしている姿が数多く見られました。写真にもあるように、学級の実態に応じて、ICT機器を効果的に活用する場面や、個別やグループ等での学びの場面を設定するなど、学習形態の工夫も見られました。また、どのクラスも「すごいね！」「がんばったね！」といった称賛や励ましの言葉が先生から子どもたちに向けられ、その言葉を受けた子どもたちは学習の意欲が向上していました。



【協議会内容】

テーマ「幼保小の相互理解と円滑な接続の在り方」について～

① 授業参観より

- ・5校時目の授業で座っていることは、とても大変であると思いますが、優しい言葉かけで子どもたちの良さを引き出していました。「45分間」座っていただけるか、出来る、出来ないで判断するのではなく、小学校は楽しいことがたくさんあって、安心感をもって過ごせる場所という認識をまずもてるようにすることが重要と感じました。

② 発達や学びをつなぐスタートカリキュラムの実践～安心して学校生活を送るために

- ・学習の理解を深めるためには視覚、聴覚の両方を使うと効果的です。また、学習経験を積むことで自然と学習習慣が身に付き、見通しをもって行動できるようになると思います。

③ 就学前後の子どもの姿について

- ・就学前の様子も小学校の先生方に見て頂く機会をつくり、支援が必要な子どもを早めに専門機関につなぐことで適切な学びに繋がります。



《参加者からのアンケート》

- ・小学校の先生の丁寧な言葉づかいや児童とのやりとりなど勉強になることが多かったです。今日はありがとうございました。
- ・担任の先生との関わり方を見て、褒める、認める、価値付けることの大切さを改めて感じた。
- ・幼保小の先生方の指導があって中学校で生徒が活躍できているという感謝をもつことができました。大変有意義な研修となりました。